## アルコール

## 新規・変更点・主要な点は<u>ア線</u>で示す

健康目標	未成年者の飲酒をなくすとともに、節度ある適度な飲酒を実践します
中間評価結果の概要	「ほぼ毎日,日本酒にして3合以上飲酒する人」の割合は,男性5.0%と2.6Pt減少,女性0.3%と1.2Pt減少と目標値を達成している状況にあるが,未成年者においては,各目標値には近づいているものの,約4割の中・高学生が飲酒の経験をしており、また、「未成年者の飲酒について問題意識を持つ中・高校生」の割合も4割程度にとどまっている。未成年者の飲酒は,心身の成長に悪影響を及ぼすことが分かっているが,親中親戚に飲酒を薦められる場合(割合43.5%)もあることから、未成年者の飲酒に対する大人の心がけを変えることが重要である。
重点目標値	・飲酒経験のある中学生・高校生の割合
	男性 5.0% <b>4.0%以下</b> 女性 0.3% <b>0.2%以下</b>
今後の重点取組	・ 未成年者の飲酒防止対策 ・ 成人の節度ある適度な飲酒を促す普及啓発
推進テーマ	<ul><li>・ 小学生のうちからお酒の害について正しく知ろう</li><li>・ 自分にあった節度ある飲酒を心がけよう</li></ul>
実施主体別の取組	【個人,家庭】 ・ 未成年者は飲酒しない ・ 周囲の大人は,未成年者の健康影響を理解し,未成年者に飲酒をすすめない ・ 多量飲酒や飲酒習慣(週 3 日以上飲酒)が健康に与える害について正しく理解する 【学校,行政】 ・ 小学生のうちから飲酒の健康に及ぼす影響等について教育を行う 【行政】 ・ 多量飲酒の健康影響について普及啓発を図り,節度ある適度な飲酒を推進する ・ 禁酒,断酒についての自助グループの育成,支援を行う 【医療機関,行政など】 ・ アルコール問題に関する相談体制を充実する 【健康づくり推進員、食生活改善推進員】 ・ まずは、自分自身のお酒の適量を知る ・ 飲めない人にお酒を勧めない